



## 第2回城東むかし町歴史探訪ウォーク 散歩がてらの歴史探し

7月10日 城東地区

城東まちづくり協議会が主催するウォーキングが、作州城東屋敷を発着点に武家屋敷やお寺などを巡る約1.5kmのコースで行われました。

同協議会の稲垣精一さんが、参加した25人を案内し、その場所ゆかりの歴史や物語を話すと、参加者は興味深げに耳を傾けていました。

前回から参加している内田琴恵さん(上之町)は「自分の住んでいるまちを知る良い機会。普段は足を運ばないお寺なども巡ってよかったです」と満足した様子で話してくれました。



## たなばたまつりかい 空にお願い届くかな

7月7日 勝北風の子ども園

日頃からお世話になっている地域の老人や、老人ホームの入居者などを招いた「たなばたまつりかい」。

この日は、アメリカのオレゴン州から訪れている中高生も浴衣姿で参加。みんなで一緒に七夕の歌を歌ったり、お遊戯をして、世代や国境を越えた交流をしました。

会場の笹に付けられた短冊には「あしがはやくなりますように」「こまなしじてんしゃにのれますように」など書かれ、可愛いお願いがたくさん揺れていました。

## エアードームプラネタリウム上映会 ドームの下で天体観測

7月20～22日 リージョンセンター

410万もの星を映し出すプラネタリウム「メガスター」。解説付きで分かりやすく星空の世界が紹介されました。

来場者は、頭上に映し出された無数の星々や、南極の夜空に広がる色鮮やかなオーロラの映像を見上げ、その美しさにため息交じりの歓声を漏らしていました。

親子で訪れた柳朱乃さん(佐良山小5年)は「いつも見る夜空よりたくさん星が見られて綺麗だった」と笑顔で話してくれました。



## 滝まつり 観光客の無事を祈願

7月18日 布滝(阿波)

観光シーズン中の安全と多くの来客を祈って、関係者が集まり、滝まつりを開催。

下流にある溪流茶屋では、地元住民による山女の塩焼きや山菜おこわなどが振る舞われ、訪れた人々は阿波の味を堪能していました。

また、あいにくの雨天の中、写真愛好家が水量が増え、その名の通り白い布を晒した様に見える滝に向けて熱心にシャッターを切っていました。

津山市子どもまつり

## 学べる体験に無我夢中

7月18日 地域交流センター(アルネ・津山) ほか



子どもの健全育成と市民の生涯学習の振興、多世代交流などを目的として開催された津山市子どもまつり。

約2,000人の来場者があり、ステージイベントではバルーンショーやクイズゲームなどが行われ、子どもたちから大きな歓声があがっていました。ブースイベントでは陶芸教室やカプラ積み、ダンボールを自由に使って、ルールも自分たちで作った遊びなど、いろいろな体験に頭も体も大忙し。時間を忘れ、夢中で取り組んでいました。

ちびっこ陶芸教室に参加した大本龍馬くん(鶴山小6年)は「集中してじっくり作れた。出来上がるのが楽しみ」と、力作の湯飲みを手笑顔で話してくれました。



勝加茂小学校俳句教室

## 指折り数え初めての俳句

6月28日 勝加茂小学校

勝加茂小学校3年生25人が綱俳句会の指導を受けた俳句教室。同主宰の白石不舍さんから季語を入れて、五・七・五の音節でまとめるなど俳句の基本を教わり、夏の季語を取り入れた俳句を思い思いに詠みました。

児童は指折り数えながら言葉を探し「もうできた」「2つ目が思い浮かばない」など、初めて詠む俳句に頭を悩ませていました。

最後に、自分が気に入った俳句を1つ披露し、白石さんの講評を受けました。誉められた句には、児童らの歓声があがっていました。



津山市弓道場落成記念射会

## 集中力を高めて矢を放つ

6月26日 津山市弓道場(山北)

津山市弓道連盟の主催で、今年3月に完成した津山市弓道場の落成記念射会が開催されました。県内外から152人の弓道家が集い、日頃鍛えた腕を競いました。

参加者は、緊張感に包まれた静けさの中、集中力を研ぎ澄まし、真剣な表情で28メートル先の的を目掛けて矢を放ちました。的に矢が当たると、競技を見守る観客から歓声があがりました。

この弓道場の完成が、弓道の振興と活性化につながるというですね。